

## 令和6年度 学校運営連絡協議会報告書

### 1 組織

- (1) 東京都立田園調布高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 総務部主任（事務局長） 総務部員（3名） 計4名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導主任、進路指導部主任、総務部主任 計7名
- (4) 協議委員の構成  
近隣警察署職員、学識経験者2名、近隣小学校長、近隣中学校長、近隣特別出張所長、近隣自治会長、本校同窓会会長 P T A会長 計9名

### 2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

#### 第1回

日時:令和6年6月21日(金) 場所:本校小会議室、出席者:内部委員7名、協議委員4名  
内容:校長挨拶、協議委員委嘱、委員紹介、内部委員及び評価委員の紹介、学校経営計画について、各分掌からの本校の現状と課題についての報告、意見交換、協議委員からの提言、事務連絡

#### 第2回

日時:令和6年11月22日(金) 場所:本校小会議室、出席者:内部委員6名、協議委員6名  
内容:校長挨拶、各分掌からの本校の現状と課題についての報告、学校評価アンケートについて、意見交換、協議委員からの提言、事務連絡

#### 第3回

日時:令和6年2月7日(金) 場所:本校小会議室、出席者:内部委員6名、協議委員8名  
内容:校長挨拶、各分掌からの本校の現状と課題についての報告、学校評価アンケート結果について、意見交換、協議委員からの提言、事務連絡

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点

- ・本校の学校経営計画に基づく教育活動に対する満足度、理解度および情報発信の結果について把握する。
- ・生徒、保護者、教員に対する設問項目から、三者の意識の相違を通して教育活動の課題を把握する。
- ・意見欄の設定により意見を具体的に把握する。

- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

#### ① 実施時期 (12月下旬)

生徒全員	: 回収数	538名/689名	(回収率 78% R5:90%)
保護者	: 回収数	135名/689名	(回収率 20% R5:41%)
教員	: 回収数	42名/42名	(回収率 100% R5:84%)

#### ② 評価項目

学校経営計画の実現に向けた取り組みが明確になるように質問内容を精選した。アンケート項目は、生徒については20項目を、保護者に対しては20項目を、教員に対しては22項目を設定した。20項目については【学習指導】3項目、【進路指導】3項目、【生活指導・特別活動】7項目、【教育環境、校内美化等】3項目、【情報公開】1項目、【学校満足度】2項目、【スクールポリシー】1項目とした。選択肢については、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「思わない」の4項目である。肯定的な意見は「そう思う」「ややそう思う」の合わせた数とした。

(3) 評価結果の概要

① 生徒・保護者・教員の比較

設問1【学習指導】学校は、必要な学力を育む授業を行っている。

生徒の89%(R5:85%R4:84%)保護者の90%(R5:82%R4:85%)教員の83%(R5:86%R4:91%)が肯定的評価をした。

設問2【学習指導】学校は、生徒が授業内容を理解するよう指導している。

生徒の88%(R5:83%R4:83%)保護者の85%(R5:73%R4:76%)教員の100%(R5:86%R4:100%)が肯定的評価をした。

設問3【学習指導】学校は、生徒の学力を定着・向上させるため、指導方法を工夫している。

生徒の85%(R5:78%R4:83%)保護者の81%(R5:79%R4:76%)、教員の95%(R5:86%R4:91%)が肯定的評価をした。

設問4【進路指導】学校は、講習・補習等の充実に努めている。

生徒の87%(R5:86%R4:86%)保護者の74%(R5:77%R4:80%)教員の81%(R5:92%R4:96%)が肯定的評価をした

設問5【進路指導】学校は、進路説明会の実施等を通して、生徒が自分の進路について主体的に考えられるよう指導している。

生徒の89%(R5:84%R4:85%)保護者の85%(R5:82%R4:88%)教員の93%(R5:94%R4:91%)が肯定的評価をした。

設問6【進路指導】学校は、各種資料の提示を通して進路情報の提供に努めている。

生徒の87%(R5:86%R4:84%)保護者の83%(R5:73%R4:80%)教員の92%(R5:92%R4:96%)が肯定的評価をした。

設問7【生活指導・特別活動】生徒は、本校の生活信条「誠実・敬愛・自主・自律」を理解している。

生徒の79%(R5:68%R4:77%)保護者の83%(R5:71%R4:80%)教員の43%(R5:65%R4:52%)が肯定的評価をした。

設問8【生活指導・特別活動】学校は、体罰・暴言のない教育活動を行っている。

生徒の94%(R5:82%R4:92%)保護者の94%(R5:86%R4:92%)教員の95%(R5:92%R4:100%)が肯定的評価をした。

設問9【生活指導・特別活動】学校は、年間3回の生徒アンケート実施等を通して、いじめの早期発見・未然防止に取り組んでいる。

生徒の91%(R5:88%R4:88%)保護者の92%(R5:85%R4:89%)教員96%(R5:92%R4:100%)が肯定的評価をした。

設問10【生活指導・特別活動】生徒は学校行事(体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭)に主体的に参加している。

生徒の94%(R5:67%R4:85%)保護者の91%(R5:82%R4:82%)、教員85%(R5:81%R4:91%)が肯定的評価をした。

設問11【生活指導・特別活動】部活動,委員会及びクラスでの係活動は、充実している。

生徒の87%(R5:76%R4:80%)保護者の81%(R5:67%R4:75%)教員の61%(R5:66%R4:70%)が肯定的評価をした。

設問12【生活指導・特別活動】教員や養護教諭、スクールカウンセラーによる悩み相談等、学校の相談機能は充実している。

生徒の90%(R5:83%R4:89%)保護者の79%(R5:75%R4:83%)教員の93%(R5:92%R4:100%)が肯定的評価をした。

設問13【生活指導・特別指導】学校は必要な非常災害時の対応について指導している。

生徒の89%(R5:83%R4:83%)保護者の85%(R5:78%R4:88%)教員の86%(R5:89%R4:91%)が肯定的評価をした。

設問14【教育環境、校内美化等】学校の施設・設備は、十分に備えられている。

生徒の57%(R5:52%R4:52%)保護者の67%(R5:46%R4:47%)教員の52%(R5:46%R4:17%)が肯定的評価をした。

設問15【教育環境、校内美化等】生徒は校内美化に努めている。

生徒の80%(R5:56%R4:63%)保護者の75%(R5:67%R4:69%)教員の52%(R5:49%R4:57%)が肯定的評価をした。

設問16【教育環境、校内美化等】学校図書館(図書室)の蔵書・設備は十分に備えられている。

生徒の96%(R5:91%R4:89%)保護者は83%(R5:78%R4:84%)教員の98%(R5:92%R4:96%)が肯定的評価をした。

設問17【情報公開】学校は、ホームページや授業公開週間を通して、教育活動の様子を保護者や地域に積極的に公開している。

生徒の87%(R5:82%R4:85%)保護者は84%(R5:82%R4:87%)教員の95%(R5:92%R4:96%)が肯定的評価をした。

設問18【学校満足度】生徒は、本校に入学して満足している。

生徒の83%(R5:77%R4:84%)保護者の90%(R5:80%R4:87%)教員の88%(R5:78%R4:91%)が肯定的評価をした。

設問19【学校満足度】田園調布高校への入学を、親しい人に勧められる。

生徒の65%(R5:63%R4:77%)保護者の83%(R5:75%R4:85%)教員の72%(R5:61%R4:72%)が肯定的評価をした。

設問20【スクールポリシー】学校はスクールポリシー(3つ)の意識づけをしている。

生徒の76%(R5:69%)教員の60%(R5:65%)が肯定的評価をした。

設問21【教員のみ】教職員は計画的かつ合理的な仕事の進め方により、業務の効率化を図っている。

教員の26%(R5:49%R4:39%)が肯定的評価をした。

設問22【教員のみ】教職員は、会議の上限時間を設ける等、勤務時間の軽減を図っている。

教員の26%(R5:43%R4:39%)が肯定的評価をした。

#### (4) 評価結果の分析・考察

今年度も昨年度と同様に、文化祭、合唱祭、体育祭などの学校行事がコロナ禍以前に近い状態で行うことができ、文化祭では1学年の全クラスが映画の放映や演劇を行うなど、行事において変化があった。また、設問の内容も昨年度のものから一部変更したものにしている。以下はそのアンケート結果である。

##### ①【学習指導】について

本校は東京都教育委員会から進学指導研究校に指定され、9割以上の生徒が進学を希望する4年制大学入学に必要な学力や、高大接続改革で求められる知識・技能及び思考力、判断力、表現力を育む授業を推進している。学習指導については、今年度は、昨年度同様、教員が授業を工夫し、学力向上に努めているという肯定的な評価より、生徒の肯定的評価が高い設問も見受けられた。

設問1【学習指導】「学校は、必要な学力を育む授業を行っている」では、令和5年度の差が1%であったのに対し、今年度は6%になっており、生徒の肯定的評価の割合が高かった。

設問3【学習指導】「学校は、生徒の学力を定着・向上させるため、指導方法を工夫している」では、令和5年度の差が8%であり、今年度は10%と差が広がった。生徒が、学力が向上したと認識できるように、模試の正答率の分析などから、授業展開の工夫や教材開発など教科として取り組むことが必要である。

また、生徒自身も先を見据え授業や週末課題等への取組に対し自己分析を行い、次の学習活動に繋げていく必要がある。宿題によって学習習慣が形成される生徒が多いため、宿題の総量に留意しつつ、各教科が工夫をして、自学自習の習慣を身に付けさせる取組みを次年度も継続していく。

②【進路指導】について

設問5「主体的に進路について考えることができるよう指導されている」と答えた生徒は89%(R5:84%)であり、教員は93%(R5:94%)であった。教員と生徒の評価の差が4%(R5:10%)であり、昨年度より生徒と教員の意識の差が縮まっている。これは、大学出張講義の充実、生徒が志望する大学を招いた大学入学説明会の対象を1年生まで広げるなどを行うことで、生徒の進路意識が向上し、進路について主体的に考えるようになったと回答したと考えられる。模擬試験については、生徒の正答率などの分析を教科として行い、教科として受験を意識した展開を今後も継続することが大切である。本校では「田高進路プロジェクト」を中心に充実した進路指導を進めており、進学実績等から保護者・地域においても近年評価されていることが数値に表れている。今後も生徒・保護者への進路情報の提供についてはさらに工夫していく必要がある。生徒・保護者の要望を十分把握し、分掌と学年が連携をとり具体的な進路情報の提供を行っていく必要がある。

③【生活指導・特別活動】について

設問8「体罰・暴言のない教育活動を行っている」について、肯定的評価をした割合は教員・生徒ともに増加した。昨年度に引き続き、教員は生徒への言葉かけに最善の注意を払い、教員と生徒間での温かな人間関係を構築し、体罰のない教育活動を行っていくべきである。設問10「学校行事(体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭)に主体的に参加している」について、肯定的な評価は昨年度と比べて増加した。昨年度とは異なり、実行委員会を中心に各行事において生徒が主体的に取り組んでいた。また、文化祭では、生徒が考えた催しが多く取り入れられた。

④【教育環境、校内美化等】について

設問15「生徒は行内美化に努めている」では、生徒の肯定的評価が80%と大幅に増加しているが、教員は52%である。生徒として、生徒は率先して校内美化に取り組んでいると認識しているが、教員から見ると、一部の生徒にとどまっている。様々な機会を通じ、自分たちが使用した場所を原状復帰することの大切さや、見えないところで誰かが美化活動をしていることに思いをはせるような機会を作りたい。設問16「学校図書館(図書室)の蔵書・設備は充実している」では、今年度も生徒、保護者、教員共に高く評価している。学校図書館が言語活動の充実に大きく貢献していると言える。設問21,22(教員のみ)「学校は計画的な仕事の進め方により、教職員の業務の効率化を図り、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を推進している」では、2項目で教員の26%(R5:46%)が肯定的な回答をした。昨年度に比べて20%下がっており、教員がより多忙な状況である。日々の業務が縮減され、ライフ・ワーク・ワークバランスが改善されることが急務である。

⑤【情報公開】について

設問17【情報公開】では生徒、保護者、教員の肯定的評価の割合が増加した。今後も、ホームページの更新回数増加や発信内容の工夫、正門横の掲示板にホームページでの発信内容を掲出すること、「学年便り」「学級便り」の定期的な発行を通して、保護者等が学校の教育活動が届くように工夫していく。

⑥【学校満足度】について

設問19「田園調布高校への入学を、親しい人に勧められる」では、生徒、保護者、教員の肯定的評価の割合が増加したが、依然として低いままである。生徒が本校に誇りを持って学校生活を送れるように、教職員一同学校運営に一層の努力をしていきたい。